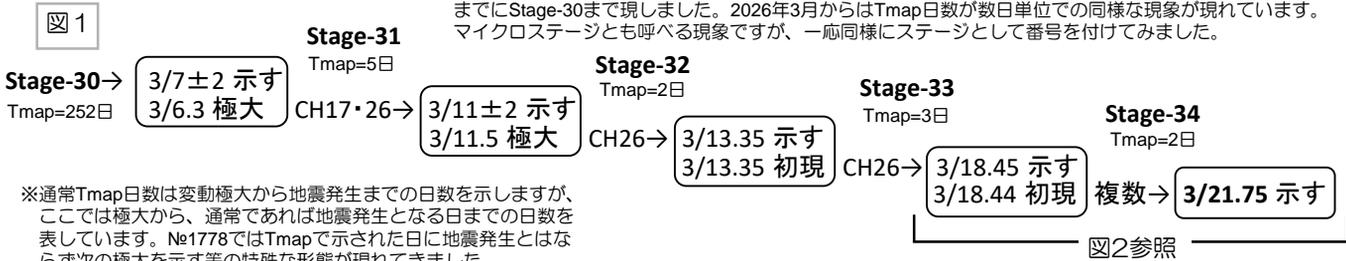


※首都圏直下・南海トラフ等大型地震は前兆検知から発生までの日数は数日の可能性が高いですが、No1778前兆は30年の観測歴上最長継続の最大に難解な変動です。No1778前兆につきましてはPHP新書「地震予報」に記したため、読者の皆様に出版後の前兆変動の変化について続報公開しています。No1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail またはFAXで配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様にNo1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。2024.1/1発生の「能登半島地震M7.6」につきましては、2023.12/31の午前11時に、M7.3±0.5の地震が1/2±2に発生する可能性「予報」を観測情報配信参加の皆様に配信し、地震発生に間に合いました。No1778に関しては解説資料の32頁～35頁を参照下さい。※2024.8/8発生の日向灘M7.1地震は、7/27 高知観測点の複数観測装置に前兆変動極大が綺麗に観測され（前兆規模M6.1±0.5、海深補正M0.9±0.3、推定規模M7.0±0.5）、前兆極大から地震発生までの日数はプレート境界型の遅いパターンTmap=12日で発生致しました。またその後は一切大型地震が推定される前兆変動は観測されておりませんでしたので、南海トラフ巨大地震発生の可能性は考えられないことを、毎日、高知観測点全観測基線波形を掲載して、日々配信の観測情報で配信公開致しました。皆様の本観測研究に対するご支援（情報配信参加）を賜りたくお願い申し上げます。

No1778 長期継続前兆 複数観測装置変動を認識しなおし 現在の変動 → 3/21 夕刻を示す



※通常Tmap日数は変動極大から地震発生までの日数を示しますが、ここでは極大から、通常であれば地震発生となる日までの日数を表しています。No1778ではTmapで示された日に地震発生とはならず次の極大を示す等の特殊な形態が現れてきました。

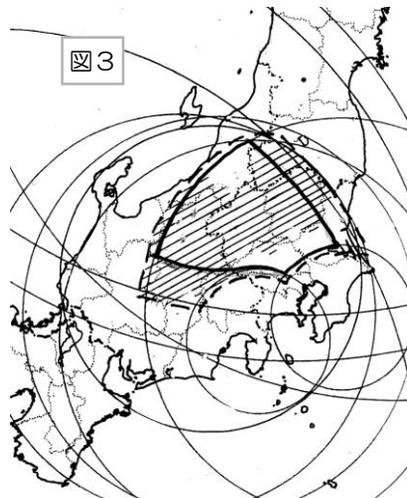
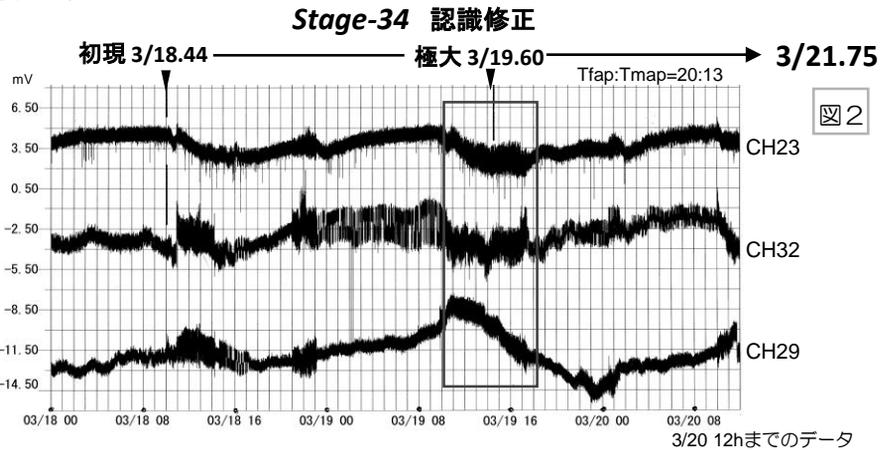
Stage-34 が示す 3/21.75 対応地震発生 または次ステージに移行

◆Stage-30以降の本年3月中の変動を図1にまとめました。数百日単位でのステージが、3月中は数日単位となって変化しています。

◆Stage-33のCH26の特異変動が示した3/18.45に対し3/18.44に出現した複数観測装置の初現に対し、3/19.60が極大の可能性と認識しなおしました。

◆この認識が正しい場合、Stage-34は3/21.75、つまり3/21の夕刻18時前後を示します。Stage-34が示した3/21.75 (±0.1) に対応地震が発生する可能性は否定できません。変動出現ではなく地震発生となる場合でも誤差範囲で翌3/22となる可能性は否定はできません。

◆但し、3/21.75 前後に変動が出現して次ステージに移行する場合は観測データを鑑み、続報で報告させていただきます。



●推定領域：図3の点線領域内＝大枠推定領域
図3の太線領域内＝可能性が考えやすい
図3の斜線領域＝火山近傍で考えやすい

●推定規模：M8.0±0.3
M7.7～8.0の可能性考えやすい
または複合地震
複合の場合はM7以上地震の断層長Lkmが
Log L=0.5M-1.8 (Utsu.)式で110～150km
程度となる様な複合地震活動の可能性
(例：M7.1±0.3+M7.3±0.3 等)

●推定時期：2026年 3月 21日 (18時±2示す)
誤差範囲：3/21～3/24
3/21.75前後に変動出現の場合は、数日後となる可能性有。その場合は続報で修正予定

○推定地震種：震源浅い日本列島陸域地殻地震
○推定発生時刻：9時±2 or 18時±3
(複合地震の場合は当てはまらない)
※草津白根山付近震源の場合は地震発生に伴う
小規模噴火の可能性否定困難